

第8回 核データグループ会合議事録

日 時 昭和42年4月18日 PM1:00~5:00
場 所 東京 観光ホテル(ライン)
出席者 河原崎, 浅見, 更田, 岡本, 若林, 村田, 神田, 大野, 中村, 中島
(龍), 鹿取, 井出野, 五十嵐, 八谷, 大久保
議長..... 八谷, 書記..... 大久保

配布資料

1. 第6回核データグループ会合議事録
2. 第7回 "
3. JAERI REPORT 1122 (核定数精度の臨界燃焼計算への影響)

議 題

1. 第6回, 第7回会合議事録確認

「Computer Index of Compiled Nuclear Data」の
名称 GIANT は不適當ではないか) という意見が出た。

2. 42年度 実行計画

a) このグループの基本方針は何かについて議論され, 「核データの収集と
評価を目標にし, この作業に付随した計算コードを作る」(中島) という所
に落ち着いた。

- b) 実行計画

o COMFORD の一部が出来た。これを使った計算プログラムを作る。

(更田)

o Fission についてのプログラムは約9.9割出来た。Pu, Uの実例と
テストする。(八谷)

o Doppler effect を考慮した共鳴領域, 光学模型と共鳴単位を
組合せたコード, Non-Local Optical Model 各コードのい
きさつについて説明 (五十嵐)

o 核データ 収集, 整理は前年と同様に続ける。

○ その他

上記各項につき説明と討論が行われ、実行予算の一応の線を出した。

Resonance Parameter evaluation

(COMFORD)	30万円
ELIESE関係	10万
Fission	50万
(n, 2n)evaluation(Plotter等)	20万
光学模型・・・, Non-Local	90万
計	200万

3. データ収集について (岡本)

前回議事録P.6にあるデータ収集についてのコメントを中心に議論が行われた。その中から拾い出した主な意見は：

- データがよく入っていない。しかしもれるのは仕方がない。
データを調べた領域がはつきり指定してあればよいが。
- もつとデータシートをしつかり書くとよい。シートを作ることがデータ整理という仕事で勉強になる。
- Give and Take にこだわるな。貯金はある程度増えないと役に立たない。
- 核の人は原論文にもどるから、全文Copyを付けたらどうか。
- 日本語に直っている方が見やすいので、原論文Copyよりずつとよい。
- CINDAが整備され、原論文にもどるとなると、データシートの利用価値が減る。

- データーシートをもつと簡単で速報性のあるものにしたらどうか。
- データーシート整理のためのアルバイトをとるべきだ。整理リーダーは必要だが。→ 運営委員会へ提案する。
- BAPS, NSA の記入は READER の判断にまかせる。
- 現在の雑誌分担制度では、仕事量に負担を感じる人もある。能率よくやるにはどうすればよいか？

結局一応の結論として、「データーの収集、整理は、グループ全員の主要な仕事だから、データーシート整理が行なわれるたびに各人の意見や考え方を議論しながら調整していく」という事になった。

4. Requests for Evaluation (五十嵐)

- このグループですぐ出せるものがない。
- 無いものは無理に出さなくてよい。
- request という形でなくても情報として Carbon, (n, 2n) など evaluation をやっていることを知らせてもよいのではないか。
- 各国の出している request の中で JNDC でやれるものがあつたらやればよいだろう。

5. その他

- CCDN-NW/4 の入手がアナウンスされた。(五十嵐)

次回 データーシート整理班作業予定：5月中旬

メンバー：大野，菊池，大久保，田中，中島(龍)，五十嵐，

次回会合 於東海 6月1日(木) PM. 1.00~5.30

議長 五十嵐， 書記 中島(豊)

以 上